

自分らしく輝ける未来へ

すべての人が性別にかかわらず、自らの個性や能力を發揮できる社会「男女共同参画社会」。今回の特集では、男女がともに自分らしく生きていくために必要なことを考えます。

問い合わせ 福祉課

性別にかかわらず みんなが輝ける社会

皆さんは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

「参画」という単語になじみがない人も多いかもしれません。これは、ただ単に参加するというのではなく、方針の立案や決定など「意思決定への参加」を意味しています。

「男性・女性はこうであるべき」といった先入観で生き方を制限されることなく、男女が性別にかかわらず、ともに参画し、さまざまな場面で一人一人の個性や能力を十分に發揮する……。このような社会を「男女共同参画社会」といいます。

男女共同参画は 誰のためにある？

男女共同参画は「女性のため

けのもの」と考える人もいるかもしれませんが、決してそうではありません。例えば、男性の皆さんにこのような経験はありませんか。

- 残業が多く、仕事と生活のバランスがとりにくい
- 育児休業を取得したいが、相談しづらい

性別による役割分担意識や働き方が見直されると、男性も日々の生活にメリハリが出てきます。男女共同参画は、男性・女性のどちらにとっても大切なものなのです。

よくある「思い込み」に 注意しましょう

自分自身では気付かない「もの」の見方やとらえ方の歪みや偏りを、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）といいます。アンコンシャス・バイアスは誰

— こんな思い込みはありませんか？ —



もが持っている、それ自体が周囲に悪影響を及ぼすことはありません。問題となるのは、思い込みや決めつけが日々の言動に現れたとき。その言動が、無意識のうちに相手を傷つけたり、苦しめたりしてしまうことがあります。



考えてみよう、男女平等

「公平」は「平等」のスタートライン

よく耳にする「男女平等」という言葉。平等とは、「偏りや差別がなく、等しい」という意味ですが、イラストが示す「平等」は、本当の意味で平等といえるでしょうか。

全員の目線の高さが等しい状態が「公平」であり、ここをクリアして初めて平等な社会が実現できます。男女が平等な社会の実現には、男女それぞれの不公平な状況を解消するという考え方が不可欠といえます。

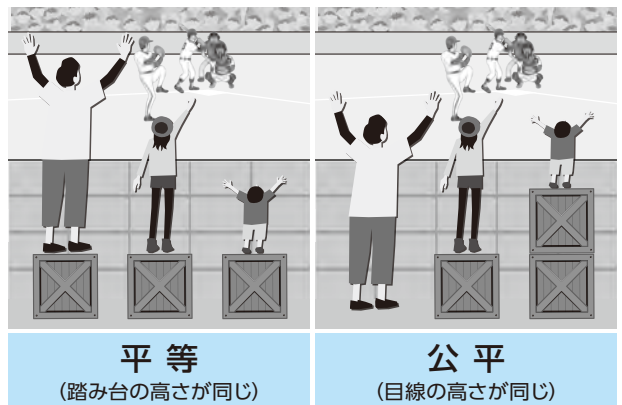
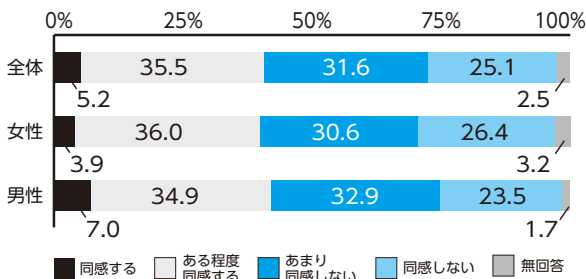




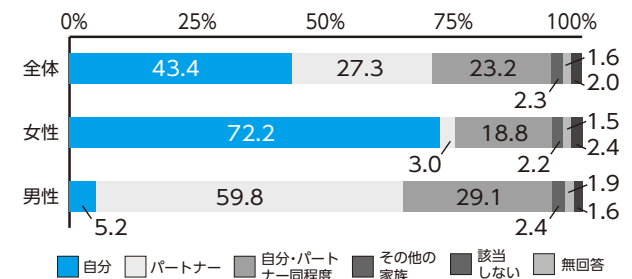
図1 仕事・家事に対する意識と現状の違い

Q. 「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。



福岡県「男女共同参画社会に向けての意識調査」(令和元年度)

Q. 夫婦のどちらが家事を主に担当していますか。



福岡県「男女共同参画社会に向けての意識調査」(令和元年度)

まだまだ差がある？
仕事・家事への「意識」と「現状」

県の調査では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合が過半数を占めています。一方、家事を主に行うのは「自分」と答えた女性が約7割、「パートナー」と答えた男性が約6割でした。

つまり、意識の上では「男は仕事、女は家庭」と考えない人が増えてきているものの、実際には女性が主に家事を担っていることが分かります(図1)。

男性が置かれている労働環境も影響

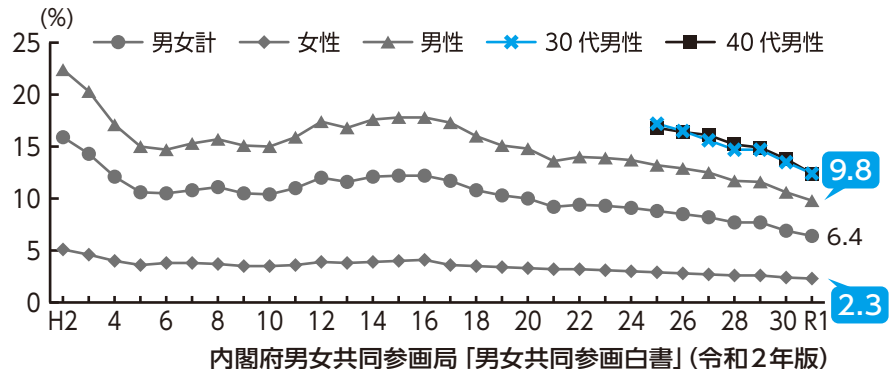
女性が家事を多く担っている理由の一つに、長時間労働の問題があります。労働時間は男女ともに減少傾向にありますが、長時間労働をしているのは圧倒的に男性が多いことが分かります(図2)。

特に、子育て期と重なる30〜40歳代の男性は、いずれの年も労働時間が平均値を超えていて、家事や子育てに掛ける時間の確保が難しいのが現状です。

少子高齢化社会から見る
これからの課題

令和元年の日本の平均寿命は男性81・41歳、女性87・41歳で、100歳まで生きる人の割合は、男性1・9%、女性7・4%となっています。

図2 週間就業時間 60 時間以上の雇用者の割合



内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」(令和2年版)

今までは、育児や介護などの多くを女性が担っていました。しかし、今後は少子高齢化の影響などにより、家族の中で介護を担う人が少なくなるため、女性だけでなく男性も、親や配偶者を介護するようになる可能性があります。性別にかかわらず「人生100年時代」を意識し、経済的な自立のほか、家事や育児、介護などに主体的に関わることが大切です。

変わりつつある 性別のとらえ方

「台所は女の聖域。男は厨房に入るべからず」……といった日本特有の風潮により、男女共同参画が進んでいないと思う人もいるかもしれません。しかし表1で示すとおり、職業などの名称の変化から、性別のとらえ方が徐々に変わりつつあることが分かります。

■表1 職業などに関するさまざまな名称の変化

看護婦	⇒	看護師
助産婦	⇒	助産師
サラリーマン、OL	⇒	会社員
保母	⇒	保育士
スチュワード (男性)、 スチュワーデス (女性)	⇒	キャビンアテンダント、 客室乗務員
父兄参観	⇒	保護者参観



▲百貨店やショッピングモール内の男性トイレに、オムツ替えシートやベビーチェアが設置されていることも



※画像は実際のCMのものとは異なります
▲オムツや洗剤のCMに男性タレントが起用され、「家事・育児は女性の役割」というイメージにとらわれない内容に

聞いてみました、仕事のホンネ



医療法人成晴会 堤病院
看護師長
かわぐち さとる
川口 悟 さん

互いの強みを生かせる 働きやすい職場環境

元々は介護福祉士として病院に勤務していましたが、医療現場にはさまざまな職業があることを知り、現在は看護師として働いています。

業務の内容は男女ともに変わりませんが、力仕事などは男性看護師が率先して行っています。一方、女性看護師ならではの細やかな気配りなどは、私たち男性看護師も頼りにしていて、男

女がお互いの強みを上手く生かせていると思います。そのほか、患者さんとのスキンシップは同性の方が取りやすいことが多く、男女のバランスが良い職場は働きやすく感じます。

「看護師」というと女性のイメージがまだまだ強いかもしれませんが、性別に関係なく、素直でやる気がある人にはおすすめできる職業です。

優しい運転・サービスを 心掛けています

西部遠賀交通
タクシードライバー
そうだ きよか
早田 希世香 さん

西部遠賀交通では、男性・女性運転手ともにお客様の満足度向上に努めています。「女性の運転手さんは話しやすい」と言ってくださる方もいます。

特に、夜遅くにタクシーを利用する女性の場合、同性の運転手の方が安心することが多いようです。ほかにも、私が母親として経験したことが、お客様との会話やお手伝いに役立ったこと

もあります。

女性社員が少ない職場ではありますが、私一人だけではこなすことが難しい力仕事などを男性社員が手伝ってくれるなど、とても働きやすく感じています。

仕事で関わる方や地域の方、支えてくれる家族に感謝しながら、これからも頑張っていきたいです。



目指すゴールは「個性の花」が咲く社会

それぞれの個性が輝くように

男女共同参画によって目指すゴールは、一人一人の心の中に真の「男女平等」意識が育まれ、私たち個人の資質や能力に応じて、生き生きとした個性の花が咲く社会です。

「女だから、男だから」ではなく、自分を信じ「私だから」という個性の花を咲かせましょう。

岡垣町での取り組み

岡垣町では、「岡垣町第3次男女共同参画基本計画」を3月に策定し、男女共同参画の視点を生かした災害対策のほか、あらゆるハラスメントの防止など、社会情勢に対応したさまざまな施策に取り組んでいます。

計画の詳しい内容は、役場庁舎1階の情報公開コーナーや町ホームページで確認できます。



まずは電話などで相談を DV(配偶者などからの暴力)に関する悩み

【配偶者暴力相談支援センター】

電話番号 201-2820
受け付け 平日の午前8時30分～午後5時15分

【福岡県配偶者からの暴力相談電話】

電話番号 092-663-8724
受け付け
・平日=午後5時～午前0時
・土、日、祝日=午前9時～午前0時※年末年始を除く

【DV相談+ (プラス)】

電話番号 0120-279-889
受け付け
・電話、メール=24時間受け付け
・チャット相談=正午～午後10時
※メール・チャットでの相談方法など、詳しくは内閣府「DV相談+ (プラス)」の公式ホームページを見てください。



▲DV相談+

【男性 DV 被害者のためのホットライン】

電話番号 092-571-1462
受け付け
・水曜日、木曜日=午後5時～8時
・金曜日=正午～午後4時
※祝日、年末年始を除く

【LGBTの方のDV被害者相談ホットライン】

電話番号 080-2701-5461
・第2火曜日=正午～午後4時
・第4火曜日=午後5時～8時
※祝日、年末年始を除く

【性暴力被害者支援センター・ふくおか】

電話番号 092-409-8100
受け付け 24時間受け付け

緊急時は110番または
最寄りの警察署に相談してください